

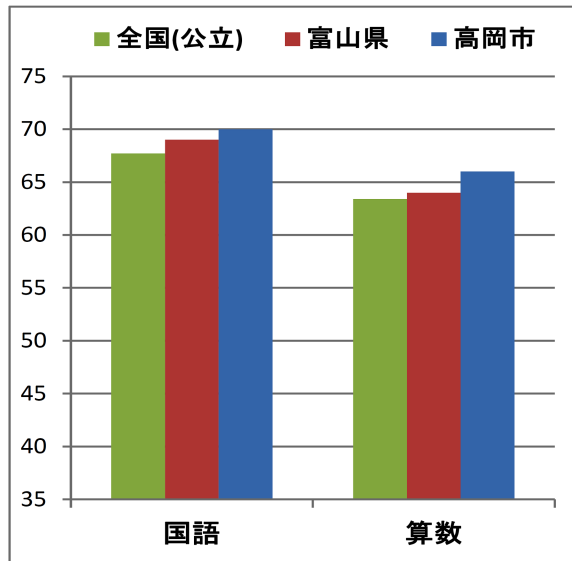
「令和6年度全国学力・学習状況調査」における高岡市の結果について

○ 学力調査について（平均正答率）

【単位％】

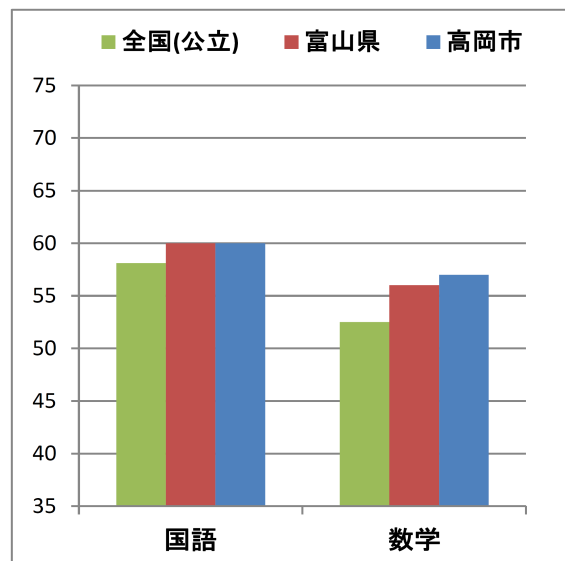
	小 学 校 (参加校全21校、参加児童数1,129名)		中 学 校 (参加校全13校、参加生徒数1,142名)	
	国語	算数	国語	数学
高岡市	70	66	60	57
富山県	69	64	60	56
全 国	67.7	63.4	58.1	52.5

【小学校】



- ・平均正答率は、全国平均を国語は2.3ポイント、算数は2.6ポイント上回っている。
- ・また、県平均を国語は1ポイント、算数は2ポイント上回っている。

【中学校】



- ・平均正答率は、全国平均を国語は1.9ポイント、数学は4.5ポイント上回っている。
- ・また、国語は県平均と同じ、数学は県平均を1ポイント上回っている。

〈成果と課題〉

小学校では、国語科、算数科ともに、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付いている。国語科では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように工夫して話したり、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、表現する力が身に付いている。算数科では、問題場面の数量の関係を捉えて式に表したり、円グラフや折れ線グラフを適切に読み取り、見出したことを他者に分かりやすく表現したりする力が身に付いている。

中学校国語科では、必要に応じて質問しながら相手の話の内容を捉えたり、資料等を用いて自分の考えが伝わるように話したりする力が身に付いている。数学科では、等式の性質などに基づき等式を変形するなどの数と式についての力が身に付いている。また、総合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を用いて説明する力も身に付いている。

今後は、引き続き、基礎的・基本的な知識及び技能をより確実に定着させ、文章や設問の内容を正しく読み取ることができるようにするとともに、自分の考えを相手に明確に伝えるために、根拠の適切さや表現の効果を考えた書く活動を重視するなどの授業改善に努めていく必要がある。

各学校においては、児童生徒の学力や学習状況の実態から自校の課題を分析し、身に付けさせたい力を明確にした上で、校区の小学校と中学校で分析結果を共有することにより、小中9年間の連続性・系統性を意識した指導の充実を図っていきたい。